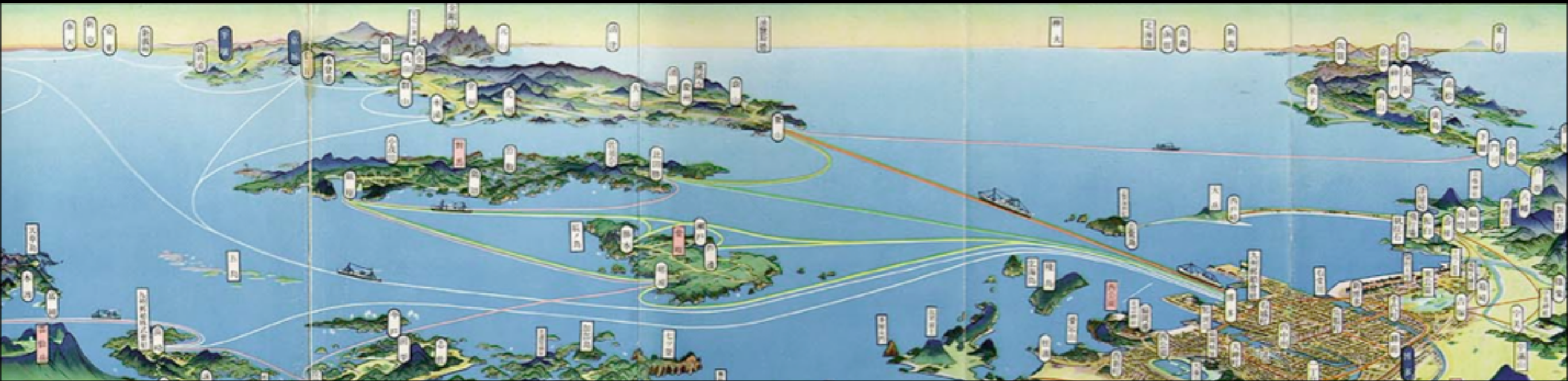


日本の玄関、大陸の玄関： 戦前福岡・釜山の都市政策



Hannah Shepherd, Harvard University
ハナ・シェパード ハーバード大学 博士課程

- ・ 2003-2006 オックスフォード大学 学部（英文学）
- ・ 2006-2008 久留米商業高等学校 英語教師（ALT）
- ・ 2008-2010 ロンドン大学 修士課程（日本学）
- ・ 2010-2012 九州大学 研究生
- ・ 2012- ハーバード大学歴史科学府 博士課程
- ・ 2015-2016 九州大学 訪問研究員



リバープール港 1920年代（左） 1930年代（右）

今までの福岡についての研究



1989年のアジア太平洋博覧会（よかトピア）



めざす都市像

ずっと住みたい街、のこしていきたい街、福岡

緑 うるおう

都市と緑

[快適で便利なまち](#)
[交通体系と地域づくり](#)
[都市景観](#)
[海と歴史を生かしたまちづくり](#)
[緑化都市と環境](#)

魅力 ひきつける

産業と資源

[農林水産業](#)
[観光と知的創造産業](#)
[博多部の魅力](#)
[文化芸術振興](#)
[スポーツ・レクリエーション](#)

人はぐくむ

こどもの環境

[こどもの環境](#)

心 やすらぐ

安全で安心なまちづくり

[ユニバーサルデザイン](#)

福岡の力

FUKUOKA POWER 2009

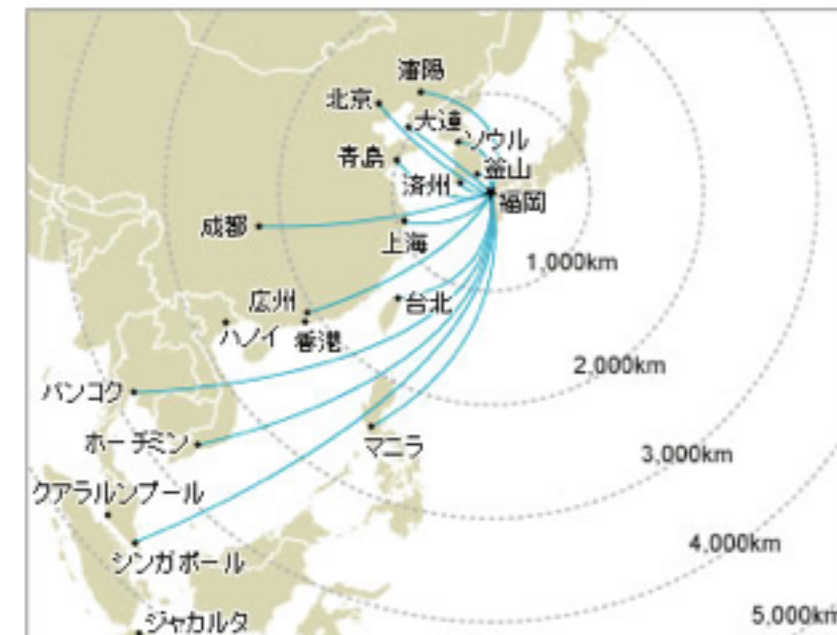
めざす都市像

めざす都市像 アジアに近い都市

福岡市は、日本の主要都市（大阪、東京、札幌）までの距離と、東アジアの主要都市（釜山、ソウル、上海、北京、台北など）までの距離がほぼ同じ範囲内にあるため、国際線の定期航空路線も多く、韓国、中国をはじめ、アジア諸国との交流には最適の位置といえます。北は玄界灘に臨み、海の中道と糸島半島によって仕切られ、大きく羽を広げているような博多湾を擁し、南は脊振山地、東は三郡山地に囲まれた半月型の福岡平野に位置しています。気候は年平均17.1℃(平成20年)と比較的温暖です。

めざす都市像 昔からアジアの交流拠点

福岡市は朝鮮半島や中国大陆に近いという地の利に恵まれ、古くから大陸文化の受入窓口としての機能を果たしてきました。紀元前4世紀には、わが国最初の水田稲作が開始されています。志賀島で発見された「金印（きんいん）」は、1世紀ごろの大陸との交流を物語る確かな資料です。7世紀から11世紀にかけてはアジアの人々をもてなした迎賓館「鴻臚館（こうろかん）」が交流拠点となり、中世期には海外の商人が多く住む日本を代表する国際貿易都市に発展し、16世紀には博多の大商人が利を求めて海を渡りました。その頃、福岡は「博多」と呼ばれていました。



福岡の都市像：「昔からアジアの交流拠点」

知っとうね?!

福岡市には「お城」があるんだよ！
「鴻臚館」もあるしね！

福岡城散策マップを見る

一家の名前を
つけてください

〇〇さん一家が「お城くん」と「こうろちゃん」を連れてお城散歩にお出かけ

知っとうね?!

福

福岡城散策マ

一家の名前を
つけてください



志賀島より出土した金印は、
漢のワド国王伊都国王に
送られたものです。

千島屋



志賀島より出土
漢のワド国王伊
送られたもので



呉服町 ^H02

ごふくまち
Gofukumachi

^{H01}
K09 中洲川端
Nakasu-Kawabata

千代県庁口 ^H03
Chiyo-Kenchoguchi

千島屋



一家の名前を
つけてください

〇〇さん一家が「お城くん」と「こうろちゃん」を連れてお城散歩にお出かけ

なぜ福岡と釜山？

福岡一釜山高速船「ビートル」
1991年～ 所要時間：2時間55分

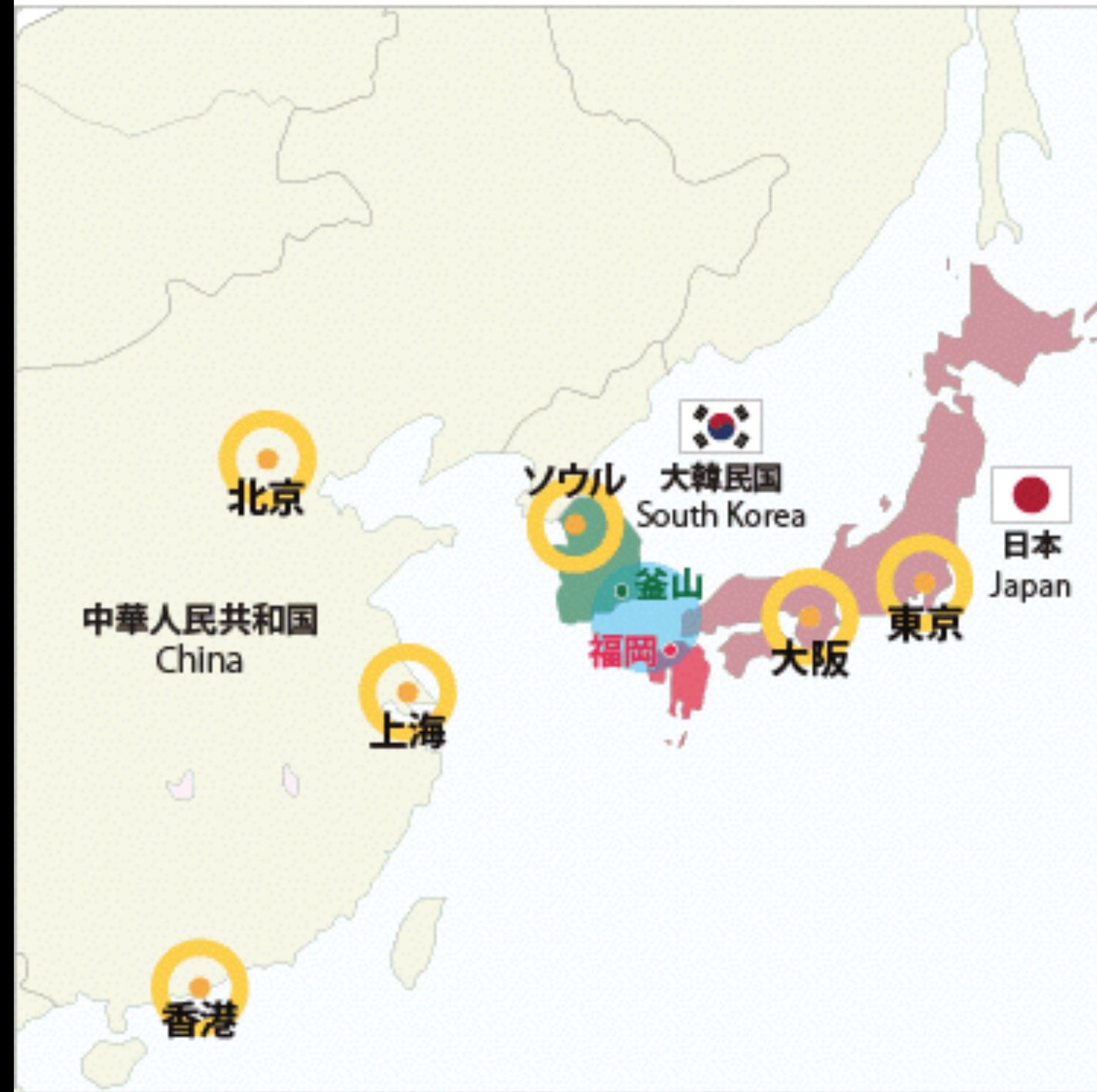


博多-釜山連絡船「朝博丸」
1930年～1945年 所要時間：>12時間

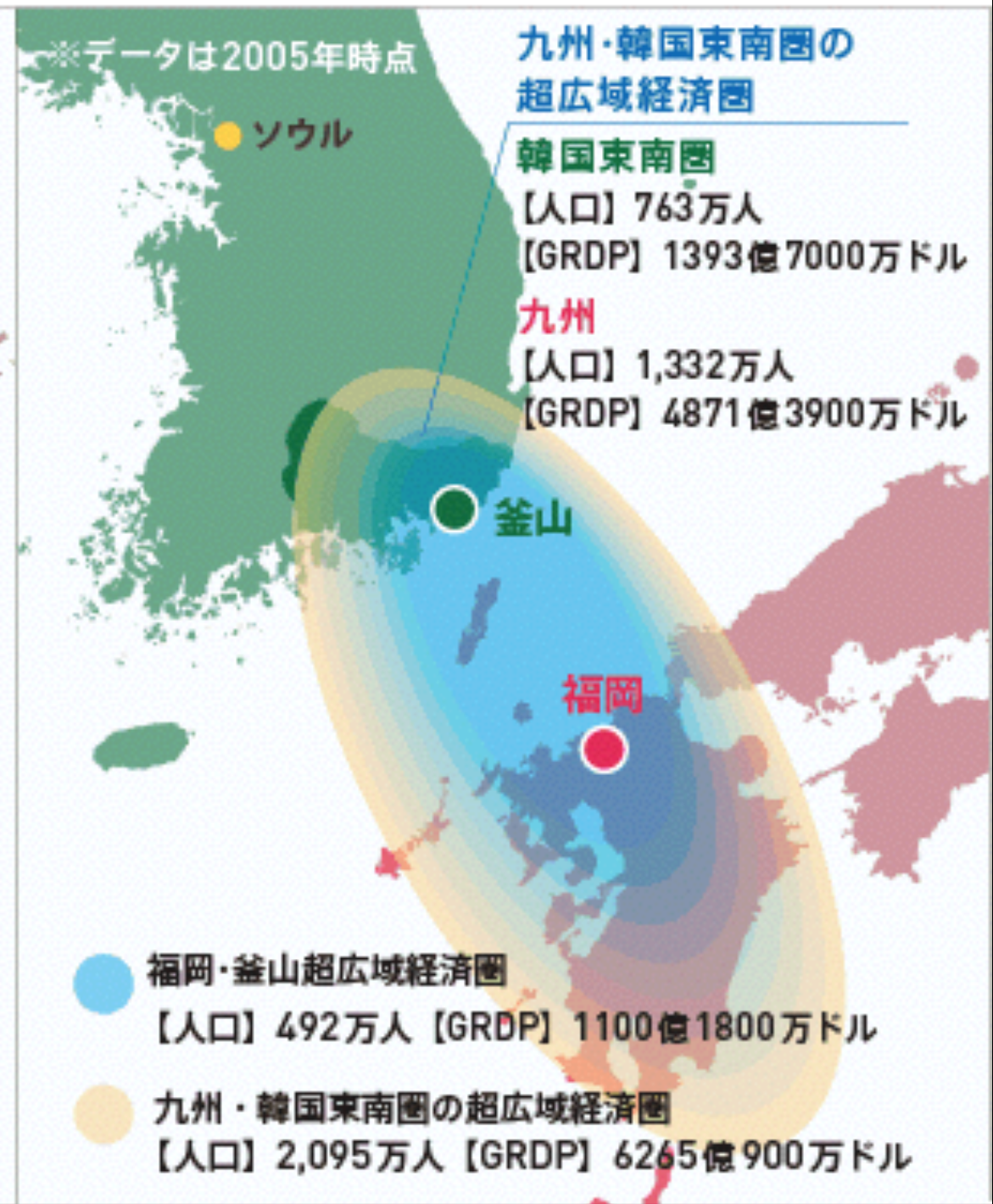


博釜連絡船 朝博丸(重量噸数1650噸速力15浬)

北東アジアでの福岡・釜山超広域経済圏

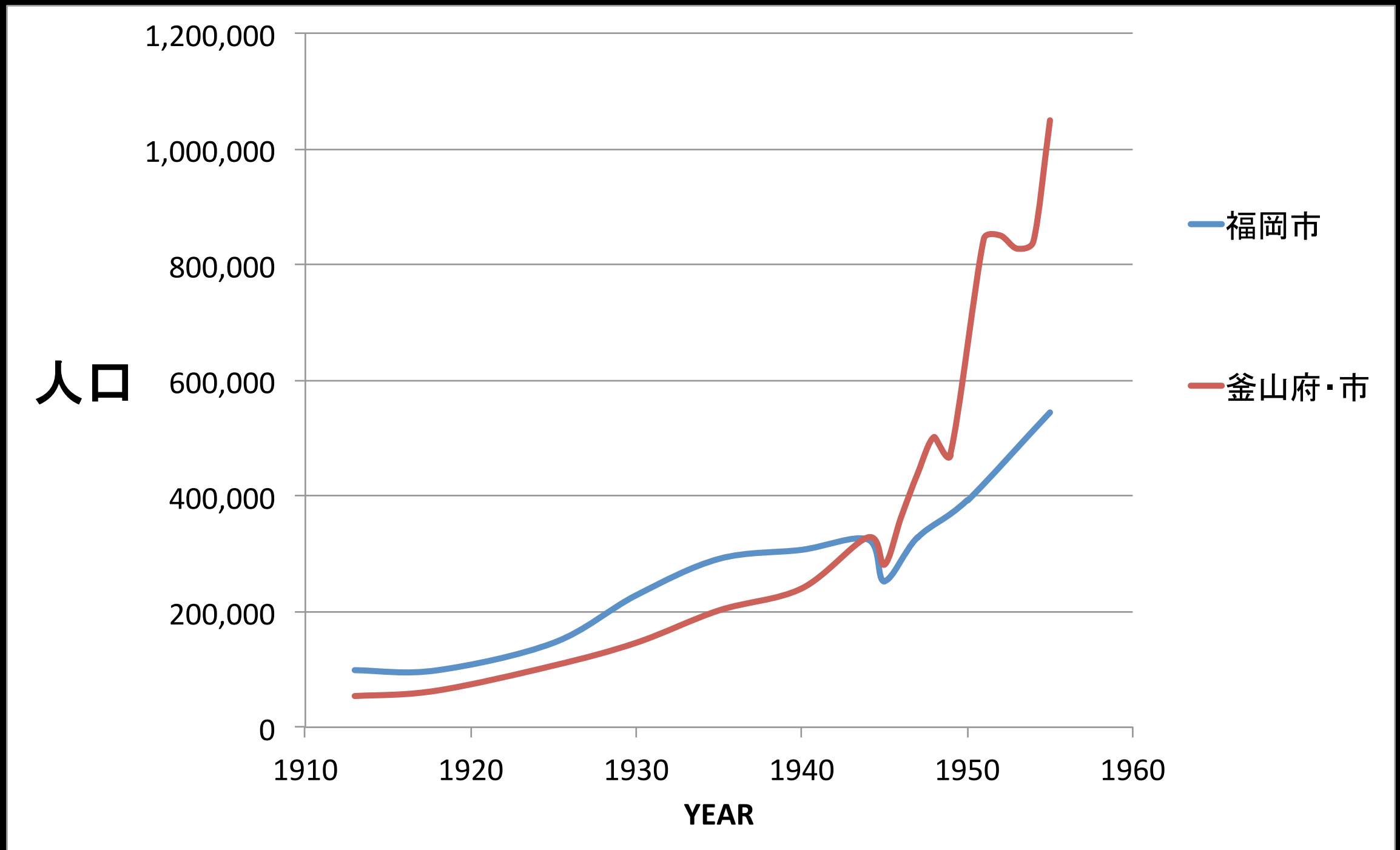


福岡・釜山超広域経済圏の拡大イメージ



福岡・釜山超広域経済圏
(2008年～)

福岡と釜山の都市化の沿革・人口増加



“Cities into Empire: Fukuoka, Pusan and Japan’s
Imperial Urbanization, 1900-1953”

「帝国の中の都市：福岡、釜山と近代日本
の都市化」

1:都市化と都市生活

2:人々の移動や移住

3:両都市と帝国を繋ぐインフラ

(交通や経済の基盤) の発展と都市の未来像

1: 都市化と都市生活

City-Country
都市－農村
City-Hinterland
都市－都市圏



Urban Region
都市化された地域

福岡・中州、ブラジレイロ



釜山・三中井百貨店





八幡製鉄所・全景



2. 両都市間の人口移動・移住



「朝鮮全半島の大玄関たる」釜山駅



「関釜連絡船景福丸」

釜山港の関釜連絡船乗り場・昭和5年（1930）

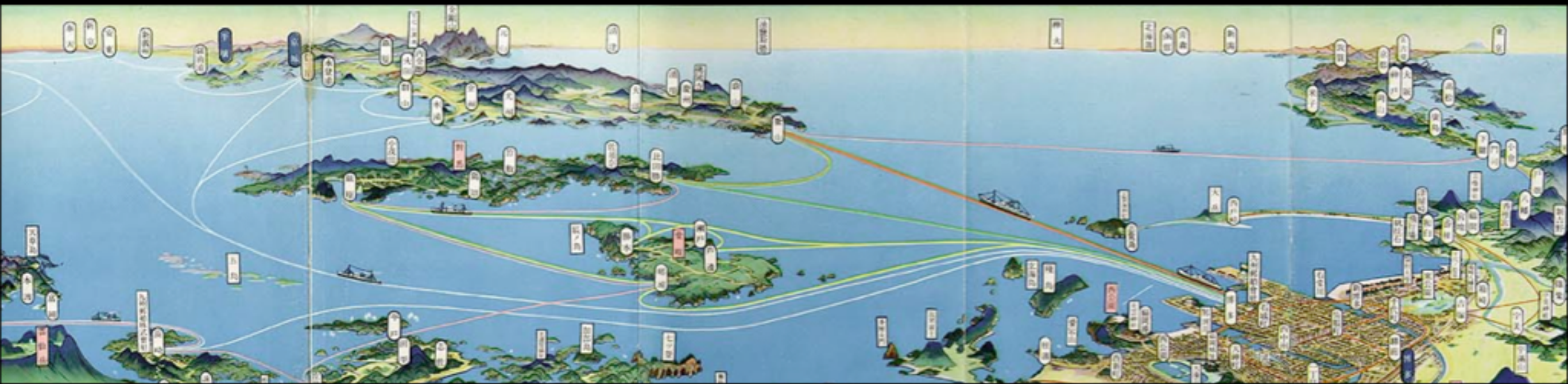


釜山：米軍に描かれた
日本から引き上げた朝鮮人



博多港引揚 c. 1945

3：インフラの発展と都市の未来像



吉田初三郎：九州郵船航路景勝交通鳥瞰図 昭和11年(1936)

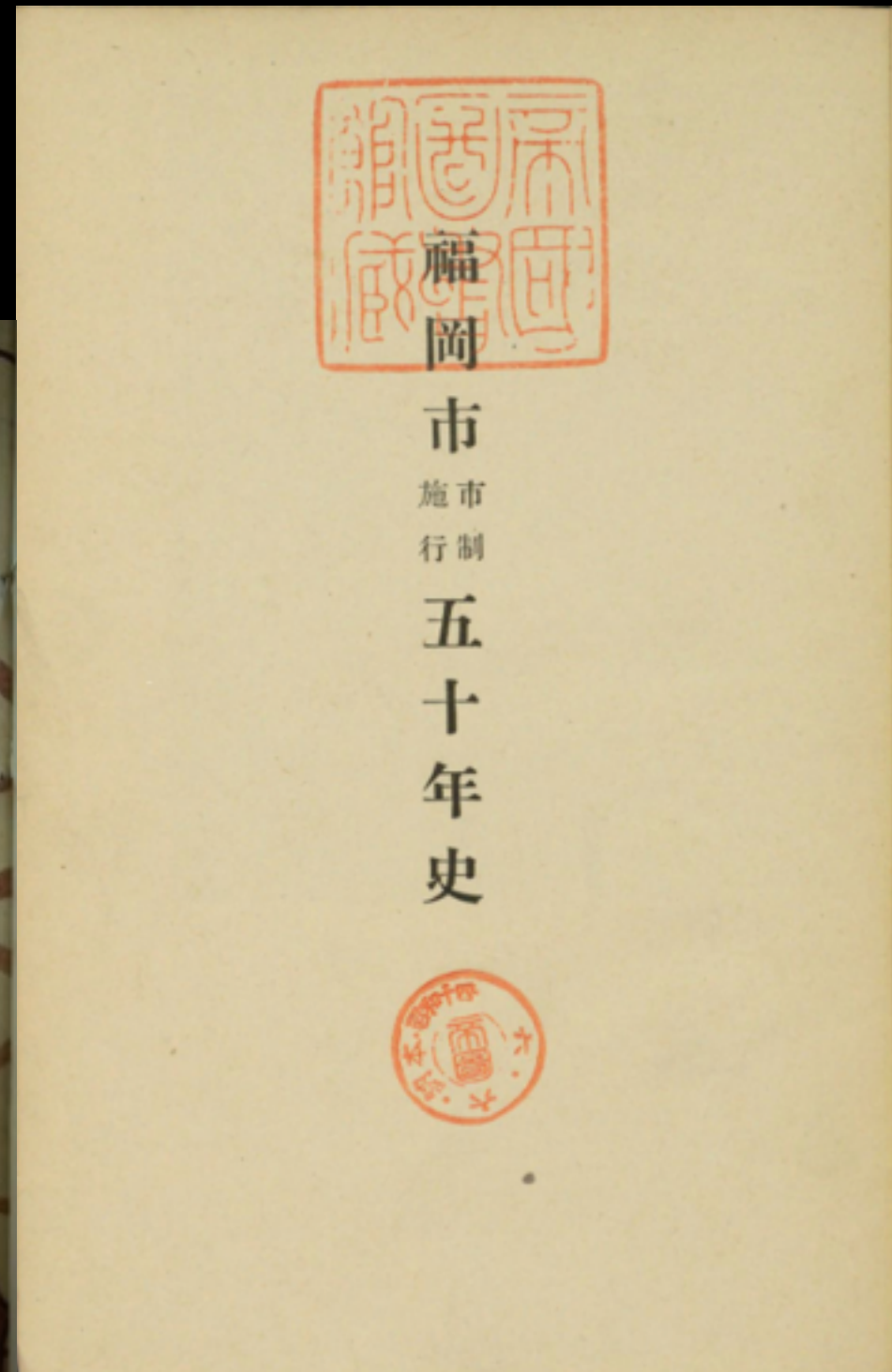


「躍進の大福岡」

「釜山」



「福岡市五十年史」



史料で見る福岡と釜山の都市計画

本社朝鮮支社設置

朝鮮支社

郷土朝鮮の自衛「福岡縣人社」は社運の興隆と時代の進歩と共に備へ今大朝鮮支社を新設することとなれり。蓋し朝鮮は吾國大陸發展の要地にして、五族集結の滿洲國と共に大和民族の活躍すべき新天地たることは多辯を要せず。人口食糧、資源等各種問題解決の鍵は茲に秘蔵せらる。然るに朝鮮の實狀は今尙普く内地に認識せられず、大陸先驅者も亦郷土の變遷、郷人の勤勞すら知悉し能はざるは大陸政策の欠如として心切に遺憾とする所なり。

四月一日

就任の辭

佐野順太郎

福岡縣人社

大平通二丁目一四六

電話本局四〇二一

佐野順太郎氏

其間として絶大なる愛國心を結成し、隨處日本の旭日旗は全世界を風靡するに至れり、長友内藤力三氏の經營せる「福岡縣人社」は夙に郷土愛のエネルギーを提げて新界に活躍し今日の成果を収めたるものにして、其朝鮮進出は大陸に一路の光明を與へたるの途あり。今後朝鮮の事情が漸次露上に展開せらるゝに至らば、早に縣人相互の提携、和親に資するに止まらず國家に寄與する所影からざるべしと信ず。不肖就任に際し聊か燕見を述べて江湖に謝へ敢て高敬を俟つ

十二年四月一日

佐野順太郎

(四月十)

人縣岡福

(行發日一月十年九和昭)

天高肥馬の候
水きたの季節

東京一玄海のきた

玄海

北品川・品川神社
電話高輪三三六二番

「福岡県人」
1925-1942

社告 臺灣へ特派員派遣



・君崎留津・

第一次臺灣行

本社 特派員 津留崎新君

豫而、發表してゐた第一次臺灣行特派員として、本社同人津留崎新君が二月上旬渡臺します。よろしく御支援、御配慮賜度お願い申し上げます。

二月一日

福岡縣人 社

渡臺に際して

特派同人 津留崎新

冬がいやなら南の島へ
雪のない島春の島
月夜戀ふなら雨の島へ
遠音ちやめるめら青い月
眼が好きなら雨の島へ、島が眼だ
よ眼はでも、常夏の島臺灣！これは
永い間、憧憬の夢であつた。本誌と
しても昭和七年本誌十周年記念事業
の一つとして滿鮮行と共に計画され
たが滿鮮行は既に昭和七年と昭和九
年の二回實施するの機会に恵まれた
臺灣行だけが遂に今日迄延々となつ
て来た。早くも本年は記念すべき本
誌の十五周年、初夏の候には吾等の
在北滿郷土部隊慰問號を特輯し、同
誌と郷土映画を發行して現地慰問が
計画され、歸途第三次滿鮮行を實施
する運びとなつて居る。今年こそは
是非臺灣行を！この念願達成の時が
遂に來た。この臺灣行も第一次滿鮮
行に例ひ本社内藤君と二人で決行す
る事になつて居たが折悪しく内藤夫
人が年末から病床に就かれて行けず
遂に僕の一人旅となつてしまつた。
運の悪い一人旅は僕の道連れに加え
て同行二人だが、僕の臺灣行も全く
の處女地である。而し其島には郷土
を同じくした皆様が先行先導で必ず待
てます。(二二・二二)

社告

滿鮮地方へ特派員派遣

新興滿洲國及び半島に於けるわが福岡縣人の能動的活躍を見る

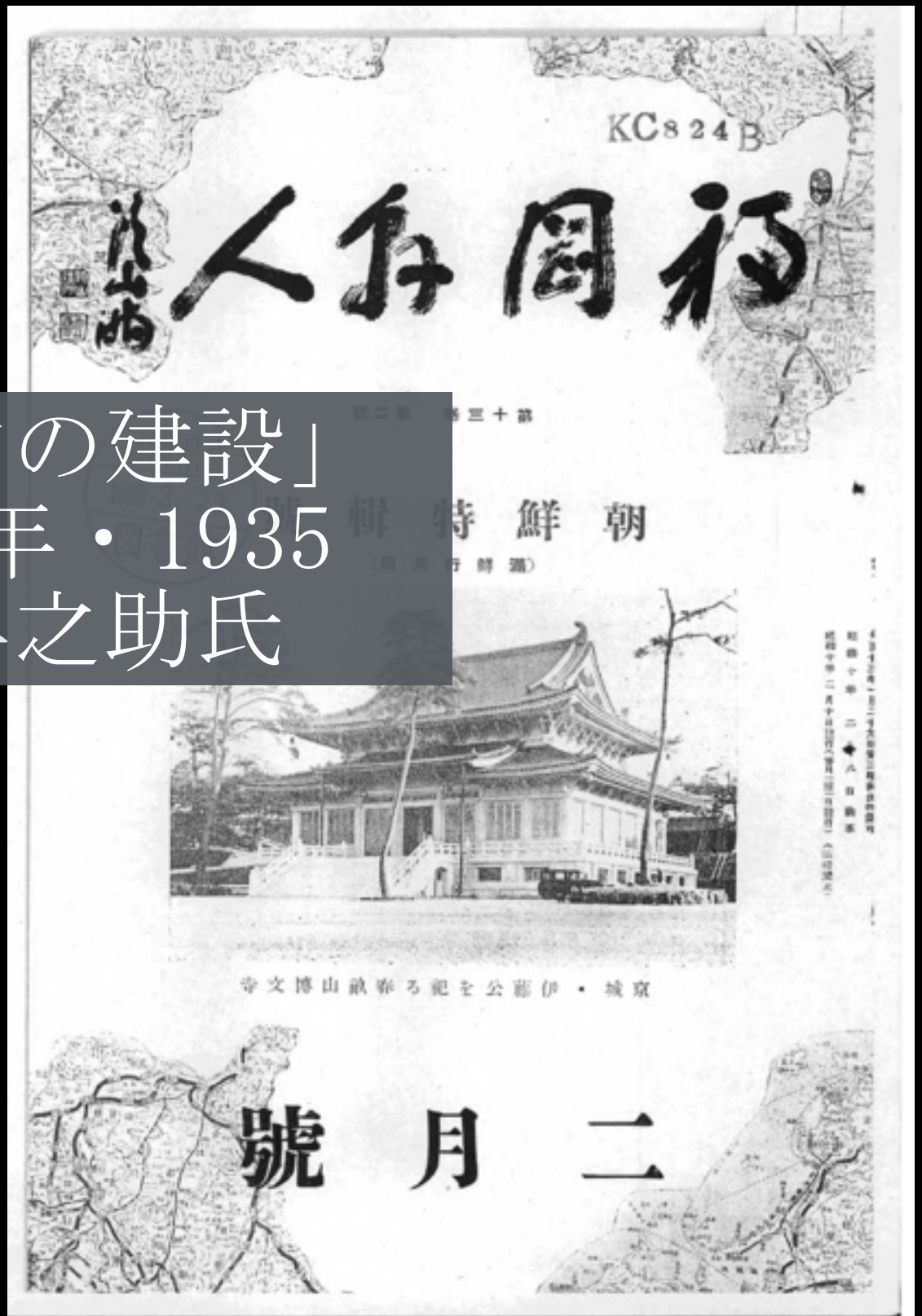


特派員 記者

内藤 力三

津留崎 新

新興滿洲國は、洋々として前進してゐる。また朝鮮半島も本邦と合して以來廿五年着々としてその實績を上げ
てゐる。この滿鮮地方とわが福岡縣とは古來密接な關係に置かれ、半島へ、滿蒙へ富源を開拓すべく雄々しくも
飛躍する縣人は數多い。われわれはこの海外へ雄飛するわが福岡縣人を歴訪しその活躍振りを調査して誌上に公
開し將來滿鮮地方へ飛躍せんとする福岡縣人に何ものかを提示したい。また、主要都市に於て座談會を開催、同
郷人の連絡及び親睦を圖るは勿論、積極的には、わが福岡縣の特つ誇るべき特産物の販路擴張等に就て何物かを



「大釜山の建設」
昭和10年・1935
篠崎昇之助氏



大釜山建設
(三)

釜山日報副社長

篠崎昇之助

最近釜山工業の發展を基礎づける用水問題について、釜山商工會議所、釜山工業クラブ、釜山府産業調査會が、大局化した觀點に立脚して、連繫的に調査研究を重ねた結果、その立案を見るに至つた

一石二鳥の効果が有り、その距離も水營切落し口から約二里半程度に達するに過ぎざるべく、新左水營の堀刺點は、殆んど地盤の軟弱であるから、工事も極めて容易とされ、かくして水營口の清流と温

福岡としては大工業地帯としての建設に必要なこの用水問題が大なる悩である。寧ろ釜山には僅々七八時間にして達する最近距離の地点にありて、日発航路船を有する福岡としては釜山の将来に着目し、此際福岡の資本家が奮起して釜山に資本を投下して各種の工業を經營し、釜山を福岡の延長たらしめ、
経済的に福岡と釜山とが地理的に共存共栄の
大局に合流して、一体となりて発展を策し、福岡の經濟努力を釜山に拡張する事も又大に考慮す可きであると思う。



福岡第一飛行場工事
竣功式の祝詞

太田勘次郎氏

昭和11・1936年

福岡第一飛行場工事竣功式
昭和11年・1936年



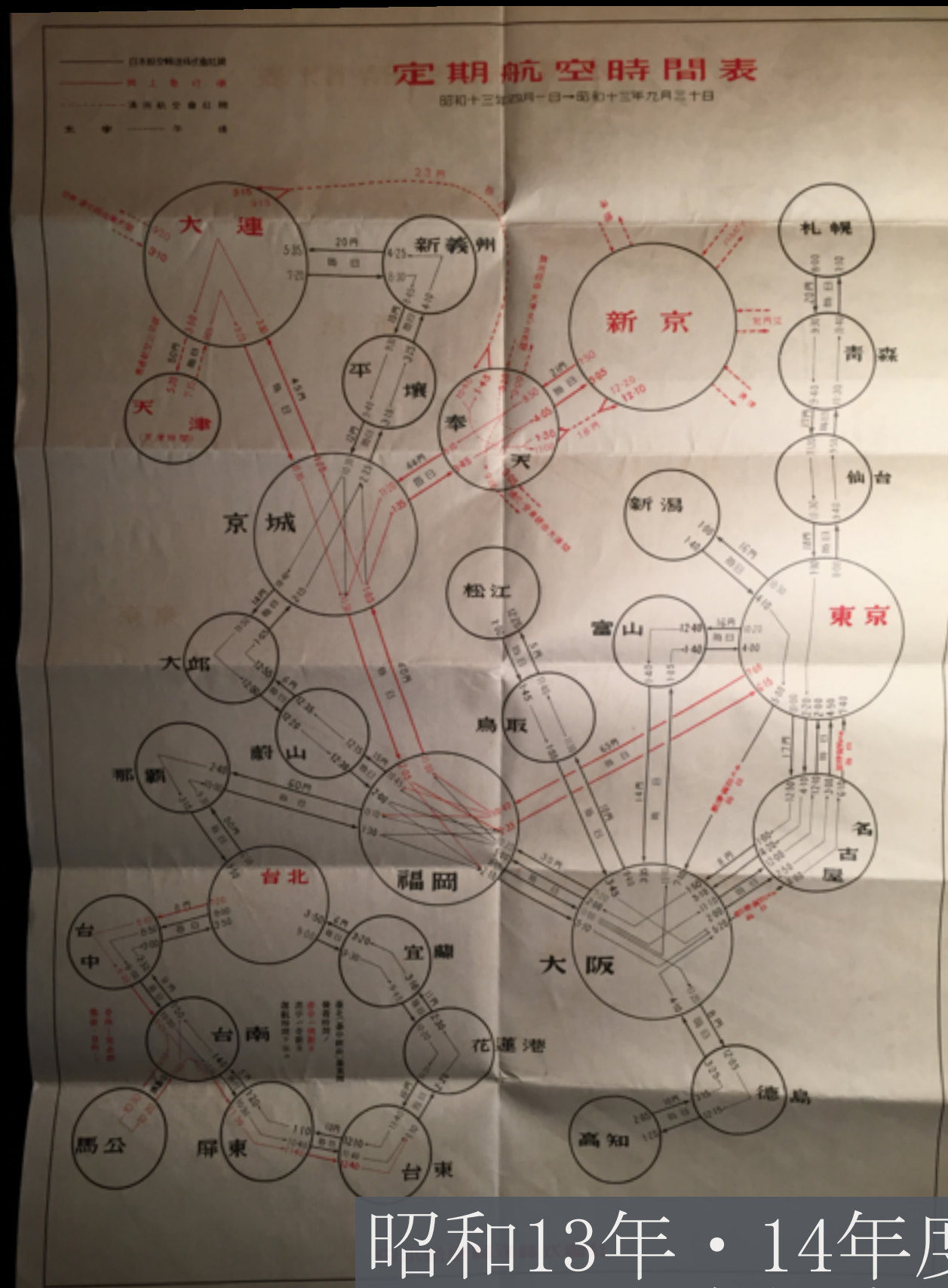
大案會場



昭和十一年六月六日竣功式・場

平和の武装は躍進福岡の商工陣容を強化し国防の武
装は非常時福岡の護りを固め航空日本の国
際埠頭は四通八達廳て是れ時間制覇の王
座を占め一朝有事の際を想到して本空港の意義更
に一層の重要性を加え、立体文化の空行く處、空の
福岡、世界の港の名に適ひ雄県の将来博多湾の未来
期して俟つべきもの多かるべし

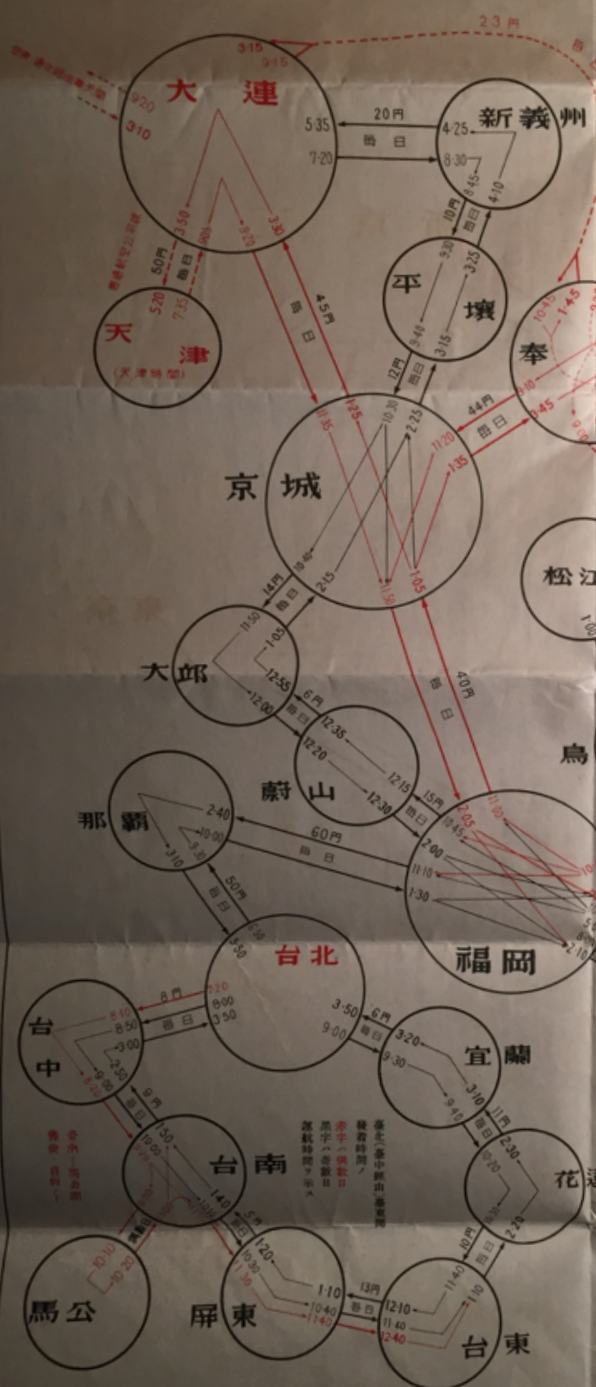
“中央県市三位一体の拍車を加え我が福岡空港の
実用を高め巨翼一搏対外、日本の咽喉を扼し
大陸へ大洋へ航空日本の一新紀元を画期せられん
事を一言所懐を啜りて祝辞とし謹みて首途の幸を
祝福し感激切々空の福岡の多端を祈る。”



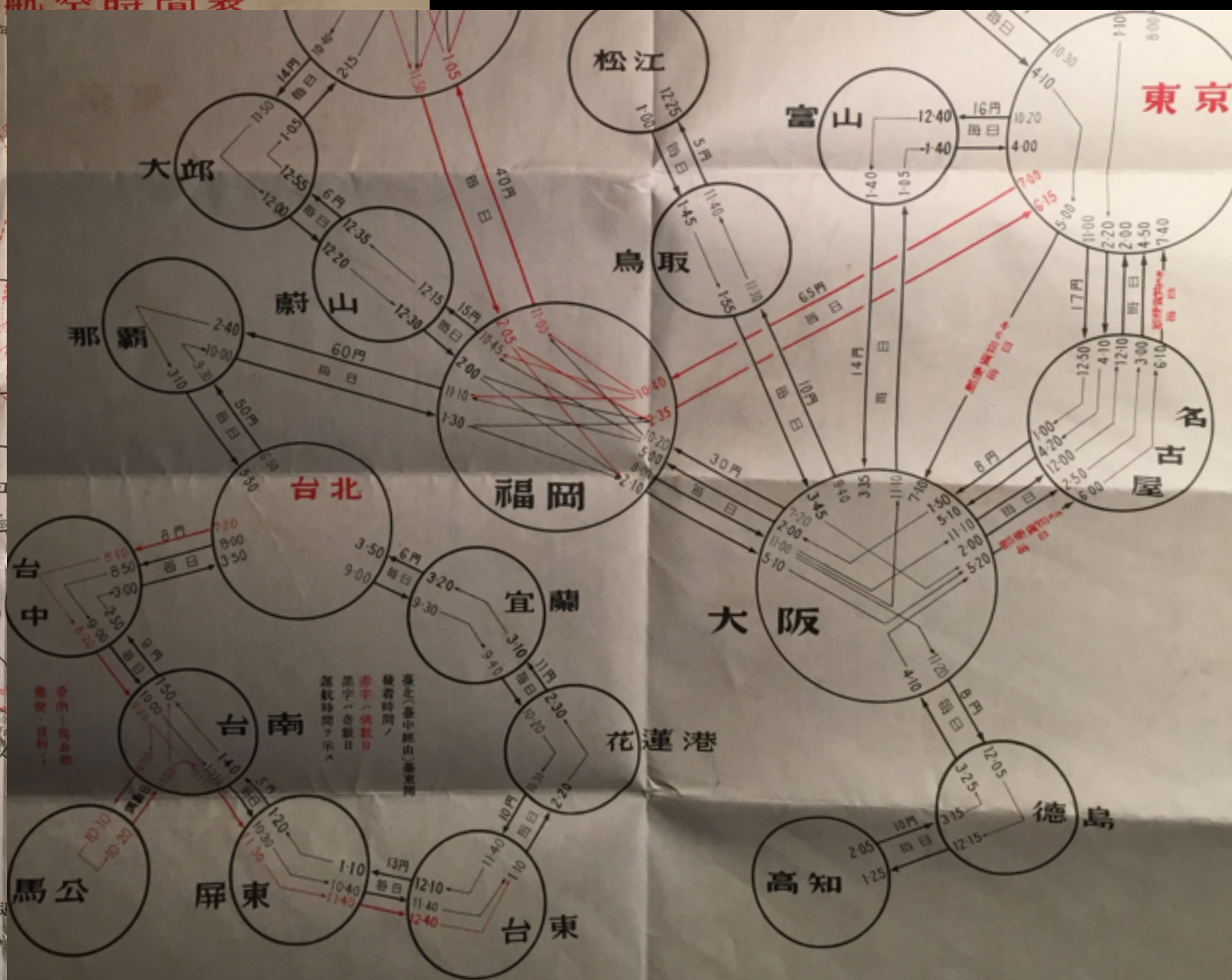
昭和13年・14年度
日本空運会社定期航空時間表

昭和十三年

日本航空株式会社
同上急行便
满洲航空會社
大正 年 月 日



日本航空輸送株式会社



日本航空輪運株式會社



釜山の今昔

釜山は日本人の大陸進出の發祥の地であつて釜山の今昔を語るは、即ち日本人の大陸進出の今昔を語る意味にもなるのであります。

文献に依りますと日本人が朝鮮に居留することになつたのは永正年間約四百三十年前齊浦（熊川）鹽浦（蔚山）釜山浦所置、三浦時代もあつたのであるが倭館ではなかつたのであるからこゝにワカン時代から話したいと思ふのであります。日本人が釜山に倭館を設けて居留することになつたのは高治元年以前即ち今を去る二百八十年以前からであつたことは疑ひなき所でありまして、初めは今の水晶町即古館に於て少數の人が居留して、貿易に従事してゐたのでありましたが、古館は海が遠淺で

船舶の碇泊も不便であるのみならず、釜山嶺にあまり接近してゐる釜山嶺其他の、軍官の壓迫もあるので、萬治元年對州の藩主、宗氏はその臣津江兵庫をして（官名は參判使）移館のことを東萊府使に議せしめたが、容易に府使の諾するところとならず、十餘年の歳月を経て寛文十二年、今を去る二百六十六年前にやうやく今の本町通りから西町即ち龍頭山を中心に移館居留することになつたのであります。

その十餘年間津江氏は、使命を全うする爲決死の奮闘をしたとのことであります。尙一説には移館の事の不成立に憤慨して憤死したとも病死したとも傳へられております。

（昭和十三年十一月二十一日ラジオ放送）

金 璋 泰



「釜山の今昔」
昭和13年・1938
ラジオ放送
金璋泰



094
47

釜山府會議員(昭和9年・1934)
35會議員:日本人:28人 朝鮮人:7人

釜 山 府 會 議 員

金璋泰



“釜山は日本人の大陸進出の発祥の地であって釜山の今昔を語るは即ち日本人の大陸進展の今昔を語る意味にもなるのであります。”

“関釜館七千噸級の連絡船が朝夕発着し南北満州並に北京へ直通列車の発着して居ることは天下周辺のことではありますが、目下工事中の港湾の大施設と中央線東海岸線の完成と相俟て釜山府の計画中に属する市区改正の実現の暁には名実共大釜山の出現を近き将来に於いて観ることを思えば一層感慨の深きものがあるのであります”



釜山居留地時代の釜山
海岸の風景(合併前)



釜山の全景(大正時代)



“日本の大陸進出の第一歩を釜山より発して全東亜を制覇したかと思えば釜山の今昔を語るに際し自ら感慨深きものがあります”

上水道に付ては大正十年三月一日約三
工事竣工したれども、人口の増加は常に
情勢となり、昭和十三年に第三期擴張工
の給水量に耐ゆる設備完成せりと雖も之
らず、且工業用水の必要増加にも鑑み、第
工費貳千九百萬圓を以て相模川の分水を
の工業用水を別々配水する事としたれど
碍に會し事業遅滞したるを以て、更に新
工費貳百八拾七萬圓を以て多摩川畔稻田
約五萬畝の取水を増加し今日優に九萬畝の送水を行へる實情

都市公論 昭和18年・1943 「大東亞共榮圈前進拠点たる福岡市」 (福岡市長：畑山四男美)

四期擴張工事の完成後は市民給水上一層の
衛生方面に關しても診療所、公益質屋、圖
託兒所、母子寮、授産所、火葬所等の施行は
國墓地、結核療養所、傳染病院等は着工中
築資材の入手に俾ひ一兩年内に完成を見る
事業計畫の遂行と共に工業都市たるの完成
遂に順應す可く全市を上げて努力しつゝあ

大東亞共榮圈前進據點たる福岡市

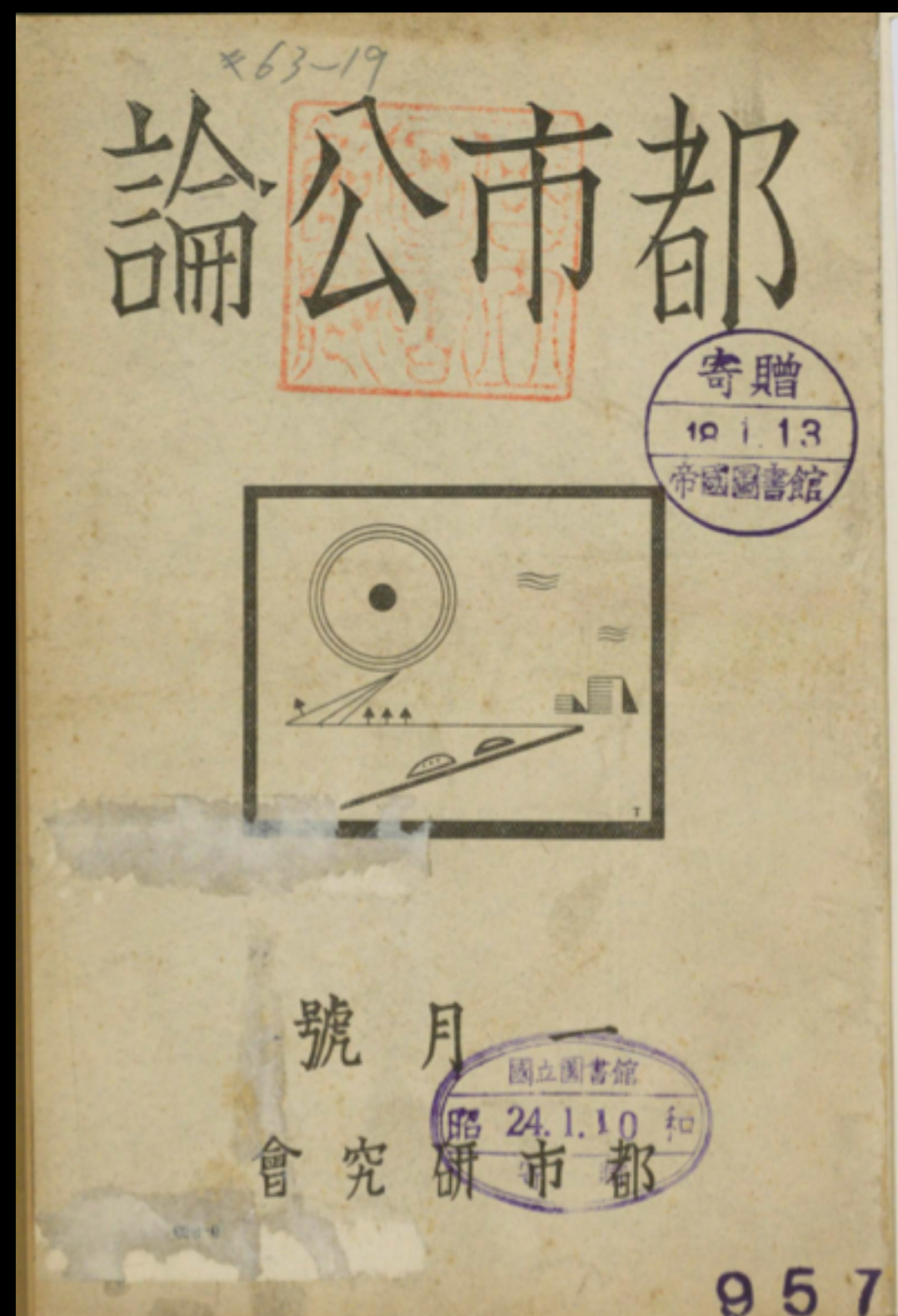
福岡市長 畑山四男美

躍進日本の對大陸、對南洋基地として、其の洋々たる前途
に多大の期待を集中せられて居る我が福岡市は九州の北部に
位し、北は天然の良港、博多灣を擁して、玄海に其の門戸を

開き東西兩三方は沃野遠く開けて、肥筑の連山に延び那珂の
清流は市の中央を流れて福岡、博多部を區劃し、石堂、室見
の東西の兩川之に併行して博多灣に注いでゐる。又日本三松



昭和初期・1920年代



昭和18・1943年1月号

“昭和十六年に至って之が完成を見愈々其の利用
に向って全能力を発揮せんとする時、偶々、今次
大東亜戦争の勃発に依り、無敵皇軍の赫赫戦果は
南に北に幾多日本人活動の地域を拡大し本港は
更に対大陸対南洋の前進基地として、著
しく其の重要性を倍加背せらるるに至り…”

“博多湾を中心とする海陸空連絡諸施設の充
実化は、千古地の利に一段の利便を加
え対外日本の大玄関として、大東亜
共栄圏建設の大聖業に偉大なる貢献
を為すべき重要基地として、ここに登場する
に至ったのである”



ご清聴ありがとうございました！

hannahshepherd@fas.harvard.edu